

124 入布施の石造片手合掌双体道祖神



指 定 市有形文化財 昭和61年 9 月10日
 所在地 布 施
 所有者 入 布 施 区



入布施熊野神社境内に造立されている高さ60cmの道祖神である。花梨型自然石の前面を平面に切り落とし、二神像を浮彫したものである。頭上に三角帽子を載せ、共に僧衣を着用している。外側の手は両神共胸前で片手合掌の姿に造像されていて、仏教の影響を強く受けた道祖神であるが、烏帽子を抽象化した三角帽子を頭にしているので、仏教系から神道系へと移行する過渡期初期の作であろう。

なお、この作例は、県下はもちろん他県においても発見例はなく民間信仰遺産として貴重な存在である。